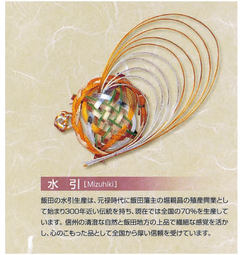
いつも「暮らしのまん中」に。



三遠南信自動車道の事業概要

三遠南信自動車道（一般国道474号）は、長野県飯田市山本から静岡県浜松市北区引佐町に至る延長約100kmの高規格幹線道路であり、中央自動車道、新東名高速道路と連結し、地域間の連携強化を図り、奥三河、遠州、南信州地域の秩序ある開発、発展に大きく寄与する重要な路線で、飯喬道路、小川路峠道路、青崩峠道路、佐久間道路・三遠道路などから成る一般国道の自動車専用道路です。

1. 既存の高速交通体系から取り残された地域への高速サービスの提供
2. 災害に強い道路網の構築・地域医療サービス向上への支援
3. 三遠南信地域の交流促進と連携強化による地域への寄与

■高規格道路ネットワーク図

新広域道路交通計画における、国土を縦断あるいは横断し、全国の主要都市間を連結して、その時間距離の短縮を図る国土の骨格を支える基幹的な高速陸上交通ネットワーク。求められるサービスレベルが概ね60km/h以上の道路。

地域と連携した緑の道づくり

国土交通省中部地方整備局
飯田国道事務所
〒395-0024 長野県飯田市東栄町3350 TEL（0265）53-7200（代表）
飯田維持出張所
〒395-0814 長野県飯田市八幡町427-1 TEL（0265）22-5080
URL:https://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/
E-mail:cbr-iikoku@mlit.go.jp

「まちからまち」へ「人から人」へ、さまざまなシーンでしっかりサポート

三遠南信自動車道

SANEN-NANSHIN-EXPRESSWAY

三遠南信地域は古くから人や物が往き交い天竜川、豊川の恵みを得て文化と歴史を創ってきました。かつてこの地域は、街道、天竜川の通船、そして鉄道へと交通手段が移り変わりつつも、地域間の交流は広く行われていました。しかし、モータリゼーションの後に周辺地域と比べて自動車交通の進展に取り残されしまった長野・愛知・静岡県境地域は、現在過疎化が進み切実な問題を抱えています。今日、失われたこの地域の交通流を取り戻すことで県域を超えた広いネットワークが形成され、今後地域の活性化に大きな役割を果たすのの期待されています。
そのためにも、秋葉街道や天竜川の代わりとなる「三遠南信自動車道」の整備が切望されています。

さまざまな交流が芽生え始めています。

産業のコミュニケーション

三遠南信地域は企業間の技術連携が芽生え始めています。
工業生産に強い三遠南信地域では、飯田市周辺の精密技術は評価が高いことから浜松地域の企業は、共に発展していけるようにと共同開発が行なわれています。
また、豊かな農業地域と大きなマーケットも併せ持つこの地域では、三遠南信地域の生産農家や商店間で知恵を出し合い、協力し合って商品開発を行い農家との直接契約を結ぶなど、技術以外の連携も確実に進んでいます。

行政の枠を超えたコミュニケーション

三遠南信地域では、地域間での情報交換はもとより、多様な地域資源を活かした広域観光の推進や、「災害時相互応援協定」を結んで非常時には互いに助け合うなど、県境を超えた地域連携を行っています。
三遠南信の未来を語り、実現に向けた取り組みを行うために、行政や経済団体が組織の枠を超えて一堂に集まり「三遠南信サミット」を毎年開催している他、各種の会議やイベントが開かれています。

SENA（三遠南信地域連携ビジョン推進会議）
（San-En-Nanshin-Area-Relationship-Vision Progressive Conference）

東三河地域、遠州地域、南信州地域の行政機関、経済団体により構成される会議です。
県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指すことを目的に、三遠南信サミットの開催や、連携ビジョンに定める重点プロジェクトの推進等を行います。

人と文化のコミュニケーション

2005年の三遠南信サミットで「住民セッション」が設置されて以降、セッションの場を利用した交流や連携が続けられ、2012年には「三遠南信住民ネットワーク協議会」が設立されました。
住民セッションや交流研修会の開催、伝統的な民俗芸能などの「祭り」をコンセプトとした遠州街道、秋葉街道、姫街道などの街道の活用方法のPR等、三遠南信地域の活動団体で相互連携を深め、文化の向上、観光振興、経済活動等へ結びつけていく活動が行われています。

このように、今日では地域や業種の壁を超えた新しい「交流・連携」の芽が芽生えています。
「三遠南信自動車道」はこれらをより大きく育てる支えとなります。

地域とともに。「みち」と「まち」の相互作用。

飯喬道路2工区に整備された天龍峡大橋は、名勝天龍峡に架かる橋です。
道路整備に合わせ地域活性化を図るため、飯田市において「そらさんぽ天龍峡」等の観光施設を整備しています。地域の観光施設整備と相まって、天龍峡PAの県外来訪者も増加しています。

天龍峡大橋開通に合わせて整備された観光施設

①よって館天龍峡

②天龍峡大橋「そらさんぽ天龍峡」

③遊歩道

飯喬道路周辺に整備された産業団地等

飯喬道路周辺の地域では、これまでの開通に伴い周辺産業団地の分譲面積が増加しており、新たな産業団地の造成等、設備投資が進展しています。
三遠南信自動車道の全線開通により、産業団地から高速道路へのアクセス性が向上し、更なる産業の活性化が期待されます。

④龍江インター産業団地

⑤善入寺インダストリアルパーク

⑥天龍峡エコパレープロジェクト川路地区

豊かな自然に配慮した道づくりを進めていきます。

動植物の生息・自然環境に配慮した、道路整備が求められています。

飯喬道路の計画区間は、天竜奥三河国定公園を中心とした自然が豊かな地域です。
このため、飯喬道路の建設に向けての取り組みとして、地元の有識者等の意見や情報を収集し、環境に及ぼす影響の緩和や自然との調和を保つ方策を考えています。

ギフチョウ

ハナノキ

オオタカ

●飯喬道路(一般国道474号)の概要

飯喬道路は、三遠南信自動車道の起点である飯田市山本の中央自動車道から同市上久堅の飯田上久堅・喬木富田I.Cを経て喬木村の喬木I.Cに至る延長22.1kmの自動車専用道路です。
飯喬道路は、既存の中央自動車道と有機的に結びついた高規格道路の効率的ネットワークの形成、高速サービス圏域の拡大に資する区間であるとともに、飯伊地域の中心都市飯田市に集中する交通の分散を図る観点からも、一般国道151号、153号、256号をハシゴ状に結ぶ環状道路としての整備が必要な区間です。

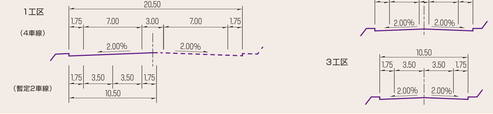
●飯喬道路の事業経緯

昭和63年度	高規格幹線道路調査着手
平成2年11月	基本計画承認
平成4年度	事業着手
平成6年1月	環境影響評価の手続きを完了
平成7年度	計画協議及び用地買収着手
平成9年2月	整備計画承認
平成10年度	工事着手
平成20年4月	飯田山本I.C.～天龍峡I.C.暫定2車線開通
平成30年3月	龍江I.C.～飯田上久堅・喬木富田I.C.完成2車線開通
令和元年11月	天龍峡I.C.～龍江I.C.完成2車線開通

●飯喬道路の計画

工区		1工区	2工区	3工区
区間		飯田山本I.C.～天龍峡I.C	天龍峡I.C.～飯田上久堅・喬木富田I.C	飯田上久堅・喬木富田I.C.～喬木I.C
延長		7.2km	7.4km	7.5km
構造規格	標準幅員	1種3級	1種3級	1種4級
	設計速度	80km/h	80km/h	60km/h
	車線数	4車線(暫定2車線)	2車線	2車線

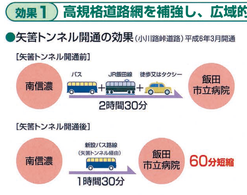
●飯喬道路の標準断面図(土工区間)



事業の投資効果

効果1 高規格道路網を補強し、広域的な交流促進を実現。

●矢筈トンネル開通の効果(小川路峠道路)平成6年3月開通



●飯喬道路 小川路峠道路開通により、飯田市役所からの1時間圏内が拡大します。

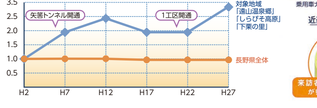
現状で飯田市役所まで
1時間で到着する町村

飯喬道路整備後に
飯田市役所まで
1時間で到着する地域

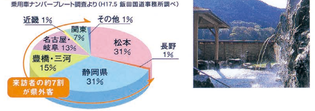
効果2 地域経済基盤構築の支援。

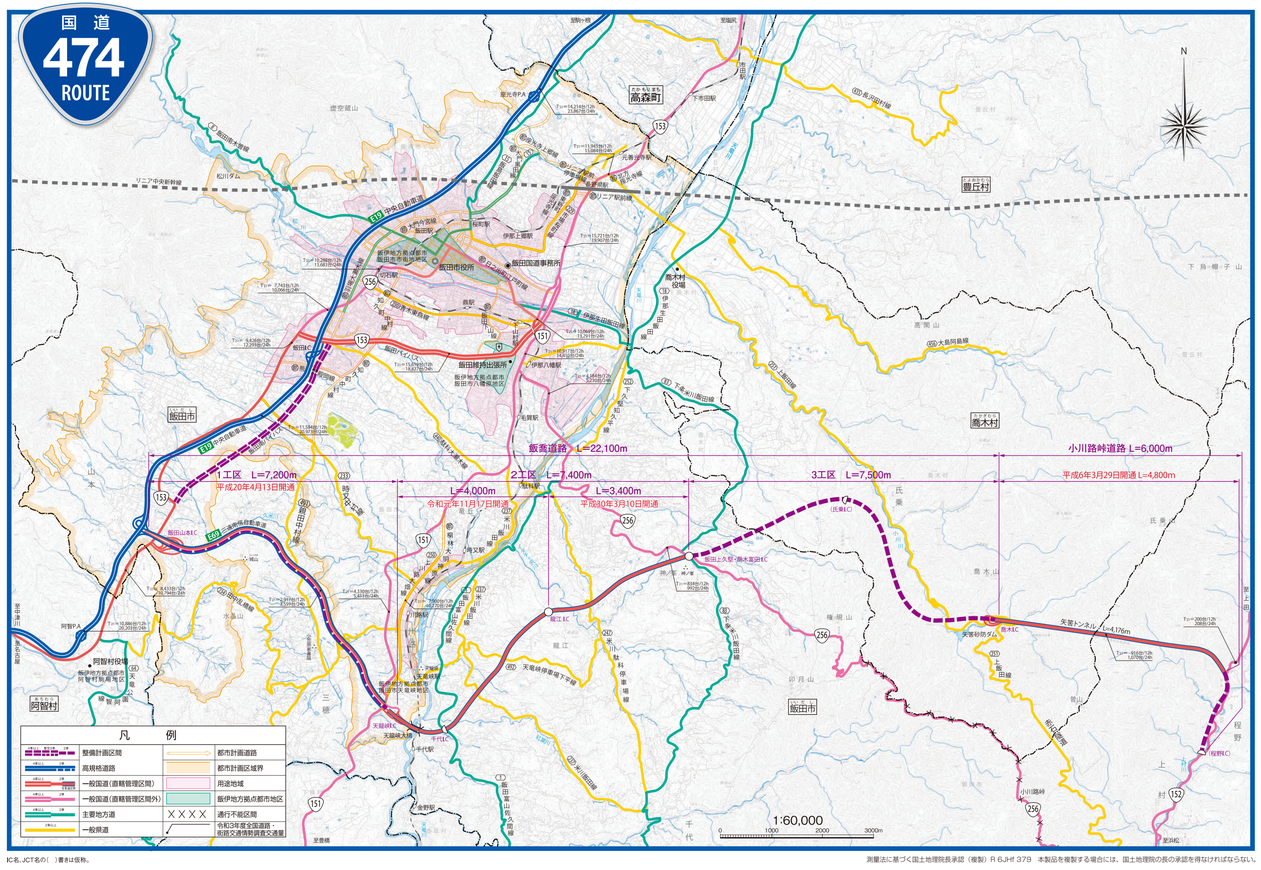
●長野県全体の観光客が減少するなかで、南信濃への観光客の伸びは著しいものがあります。
飯喬道路、小川路峠道路の整備による「広域的交流促進」「生活道路の安全性・信頼性向上」等の効果により、遠山地域〈遠山温泉郷〉への観光客の更なる増加が期待でき、地域の経済の発展・活性化が期待できます。

●対象地域の観光客の伸び(H2=1.0として)



●かぐらの湯(南信濃)来訪者の居住地内訳
乗用車ナンバープレート調査より(H17.5 飯田国道事務所調べ)





IC名、JCTを の( )書きは仮称。

測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 6JHI 379 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。